



# 第一 沼津コミュニティ

沼津第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第19号 平成13年10月1日発行

## 第三十九回第一地区体育祭開催される

### 「優勝は大手町に輝く」

第三十九回第一地区体育祭は

去る九月二日、第一小学校グラウンドで開催されました。今年の夏は猛暑が続き、これは大変な暑さの中での体育祭になるのではと心配されたのですが、一転風さわやかな絶好のスポーツ日和となり、各町内の選手にとって心地の良い汗を流した一日

となりました。

開会式は笠井会長の開会宣言で始まりました。続いて来賓の斉藤沼津市長、一中高橋校長、一小鈴木校長様からご挨拶を頂き、本年度のスローガン「小さな輪を大きな輪にひろげよう体育祭」に向かつて競技がスタートしました。



なかでも玉入れ競技は従来の親睦を重視した幼児高齢者対象のプログラムのほかに、得点種目のスポーツ玉入れや、中学生によるクラス対抗玉入れが新たに加わり、参加者により工夫されたおもしろい競技となりました。これぞコミュニティの表われではないでしょうか。なお本年度も一中学生のキビキビした活動が目立ち、おかげで大会運営がスムーズに行われ

#### 第39回校区祭チーム成績

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| 優勝     | 大手町    | 20点 |
| 準優勝    | 錦丸子町   | 18点 |
| 第3位    | 末広町    | 15点 |
| 第4位敢闘賞 | 上本・添地町 | 15点 |
| 第5位敢闘賞 | 西条・八幡町 | 13点 |
| 第6位    | 真砂町    | 13点 |
| 第7位    | 白銀町    | 11点 |
| 第8位    | 連合     | 11点 |

た事は素晴らしい事でした。注目の町内別成績は、表の通り大手町が優勝を飾り、昨年まで四年連続優勝の真砂町は残念ながら六位となり楽しい大会の幕を閉じました。



### 「体育祭を終えて」

「こころうさまでした」

実行委員長 吉村清次郎

今回の体育祭は晴天にも恵まれ、実行委員や運営委員、小中学生の協力で、当日は大勢の方々の参加、応援（一八〇〇人）でグラウンドは大変にぎわいました。普段は運動に親しんでいないお父さん・お母さん、孫と共に笑顔で応援、参加してくださったおじいちゃん・おばあちゃん、沢山の若者の参加、ありがとうございました。町内別対抗は大手町の優勝、そして西条八幡・上本添地の敢闘賞と決まりました。小中学生の減少、地域差の問題点をかかえての体育祭でしたが、来年以降こうした運営のあり方など、青少年育成、地域作りの一端として体育祭を検討する時期にあることを痛感しました。





# 来年は「合同大運動会」か!

—小運動会と校区祭の合同開催について—

コミュニティ推進委員会会長 笠井 瞳

第一地区コミュニティ推進委員会では、予てより小学校の運動会と地区体育祭の合同開催に向けて、話し合いを重ねて参りました。本年度は、その第一ステップとして運動会のプログラムに地域参加の種目が組み込まれました。

地域コミュニティ活動は、住民相互の協力と信頼のもとに、健康で・明るく・住みよい・地域づくりを目指しております。その一環として地域の住民の交流と三世代ふれあいの場である体育祭を開催して参りましたが、ご存じの様に第一地区は市内でも少子高齢社会現象が顕著で児童生徒の数が年々減少しております。

そんな状況の中で開催されている体育祭は、単一でチーム編成が出来ない自治会が増え、その結果他町内と連合を組むこととなり、単一チーム

として参加した頃に較べると参加意欲や応援の熱意もいまいとつ盛り上がりがないと云う声を多く耳にします。いよいよ従来の体育祭を見直す時が来たのかと考えます。

今、子供を取り巻く様々な問題が多発して大変心配されています。「地域の子どもは地域で守る」が急務の時であり、地域の子育て支援の面からも、家庭、地域、学校が常時連携して取り組む重要性が問われています。

そうした社会現象の状況判断の上からもコミュニティ推進委員会では、小学校の意向を十分に汲み取り、全面的に賛同し、学校側と協力し合いながら合同開催の準備に全力をあげて取り組みます。来年の合同体育祭が多くの方々の参加でふれあいの輪が広がりますことを期待しております。

## シリーズ 地域の人・もの紹介します スポーツで大活躍する 第一地区の皆さん

おめでとう全国高校総体出場!

高齢化現象と少子化の見た目のようにいわれている第一地区ですが、意外と多くの分野で様々な人たちが活躍しています。今回は厳しい練習の成果を実らせて県予選を勝ち抜き、見事全国大会に出場を果たした校区の児童、生徒達を特集いたしました。

### フェンシング

近年、地元選手の活躍が話題になっているフェンシング部門は、全国高校総体出場の県代表十人をなんと全て沼津勢の東高生と暁秀高生が独占、さらにその中で第一校区の高校生が三人を占めるという活躍ぶりでした。

男子フルール

○西野 洋平君

大手町(県二位 暁秀二年)

女子フルール

○酒井 寿里さん

西条町(県二位 東高二年)



フェンシング選手十人勢ぞろい (市民体育館)

○藤原 千華さん  
大手町(県四位 東高二年)  
全国大会では惜しくも決勝トーナメント進出を逃しましたがまだ三人とも二年生、来年のさらなる活躍を期待したいと思います。

西野君(後列左端)藤原さん(前列左から二人目)酒井さん(前列右から二人目)沼津朝日掲載写真より

### 陸上競技

伝統ある沼津陸上競技スポーツ少年団(佐藤光司監督)の六年生男子チームは県選考会の四百米リレーに優勝、八



(写真は沼津朝日掲載写真より)

六年男子チーム 山口君(右端) 中西君(中央)

### ホッケー

東高ホッケー部は県高校総体決勝で伊豆中央を下し三年ぶりに全国大会に出場しました。この全員三年生の先発イレブンの中に加藤君がいます。

○山口 敬太君 志多町  
○中西 亮君 末広町

○加藤 幸一郎君



## 「私の町」が始まりました

本号より「私の町」と題して各町内の皆さまに参加していただき、町内にまつわる思い出話や昔話、さらにこれからうちの町内ではこんなことが

## シリーズ私の町(一)

## 志多町の思い出

志多町クラブ会長 山口勝雄

志多町の思い出という先ず昭和初期の頃のお祭りの事が思い出されます。七月のお盆の頃です。志多町川廓の氏神の水神さんの境内でカップ祭りという世にもめづらしいお祭りがございました。小屋

の廻りを葦で囲い高さ巾共二米ぐらい奥行八十糎位の小屋を作り、その上段にカップ



あるよという様なお知らせや宣伝、さらには自慢話などありましたらいろいろご紹介したいと思えます。どうぞ奮ってご投稿ください。よろしくお願いいたします。

パを作つて祭りました。そのカップの作りが、おもしろく、先ず白瓜を横に置きその上にオス、メスのカップを作るのです。茄子と胡瓜に昆布の着物を着せ、帯はカンピョウで結び玉蜀黍(と

あるよという様なお知らせや宣伝、さらには自慢話などありましたらいろいろご紹介したいと思えます。どうぞ奮ってご投稿ください。よろしくお願いいたします。

此のカップ祭りは子供達が水難防止の為に、川辺でカップに引き込まれない様にお祭りをす



見やすい場所取りの競争で早く行き、ゴザを敷いて陣取るのです。又賑やかな夜店が並び、旧東海道の入口より水神さん迄の約二百米位の所にヨウヨウ売りを始め、かき氷屋、綿菓子屋、玩具屋、玉蜀黍屋、金魚すくい等、法被鉢巻姿の威勢の良いお兄さんやおじさん達の姿が今でも思い出されます。

## コミュニティ施設利用について

——もっと上手に使いまひよう——

第一地区センターは、地域館となっています。

以上の事項を守り、次の利用者の為にもモップをかけ、きれいな状態で施設を使つていただき、一人一人が心掛けて正しく使用して頂きます様お願い致します。

## テーター

## 第一校区その2

今回は本号一面で校区祭と運動会の合同開催のことに触れられていましたので第一校区の小中学生の数をレポートいたします。各学年のクラス数は小学校の三年が一クラスで後はすべて二クラス編成となっています。

| 学年 | 人数  | 学年 | 人数  |
|----|-----|----|-----|
| 1年 | 30  | 1年 | 18  |
| 2年 | 29  | 2年 | 25  |
| 3年 | 29  | 3年 | 22  |
|    |     | 4年 | 21  |
|    |     | 5年 | 27  |
|    |     | 6年 | 25  |
| 計  | 138 | 計  | 140 |

- ①使用申請は一ヶ月前から受付けますので、必ず使用許可書の発行を受けてください。
- ②利用目的以外の使用は出来ませんので注意して下さい。
- ③机の移動時は床を傷つけないように移動の前後にストッパーの解除を確認して下さい。
- ④ゴミ空缶等は各自で必ず持ち帰して下さい。
- ⑤駐車場が狭いのでなるべく乗り合わせてお越し下さい。
- ⑥会館出入りの際は、近隣にご迷惑をかけないようにご注意下さい。
- ⑦火災予防には万全を期して下さい。
- ⑧午後五時から六時までは閉



# 原宿場道中パレードに参加して 仮装「ツバメの一揆」で最優秀賞

コミカレ修了婦人部顧問 笠井幸子

八月四日、東海道四〇〇年祭のイベント「おいでよ原宿へ」の道中パレードに、コミユニティカレッジ修了者市内ねっとわーくの仲間達が参画した。

東海道五十三次の宿場である原は、浮島地区と共に四〇〇年祭イベントに名乗りを上げ、地域が一丸となって年間を通し、先人を偲び、歴史を

楽しむ行事を開催。その一つである道中仮装に第一地区から三名が参加、仮装は「ツバメの一揆」

浮島沼には八月中旬頃になると、子育てが終わったツバメ達が葦原に寝ぐらを求めて飛来するという。その数は数万羽とも云われるが、近年圃場整備や埋立ての為、葦原が減少してツバメの寝ぐらが危ふまれている。皆さんが知っているツバメの巣は子育てが済むと、もう使われないそうです。

そんな訳でわがチームは『自然を返せ!』とツバメになつてお代官様に直訴して参加十八チーム中、見事最優秀賞を獲得した。そして熱くイベントを盛り上げる原地区「虹の会」に深く感銘した。



21世紀の赤ちゃんこんにちは



平成13年度

## 第一地区コミュニティ祭

- ・日時 11月11日(日)  
9:00~15:30
- ・会場 第一地区セーラー小体育館

第一地区の皆さまの

- ・作品の展示
- ・演芸
- ・アトラクション
- ・模擬店
- ・その他



お楽しみに

地区センター休館日

- 10月  
1. 8. 9. 15. 22. 29
- 11月  
4. 5. 12. 19. 24. 27
- 12月  
3. 10. 17. 24. 25. 29~

冬休みは12/29~1/4までです

TEL 63-5088